

保証書別添

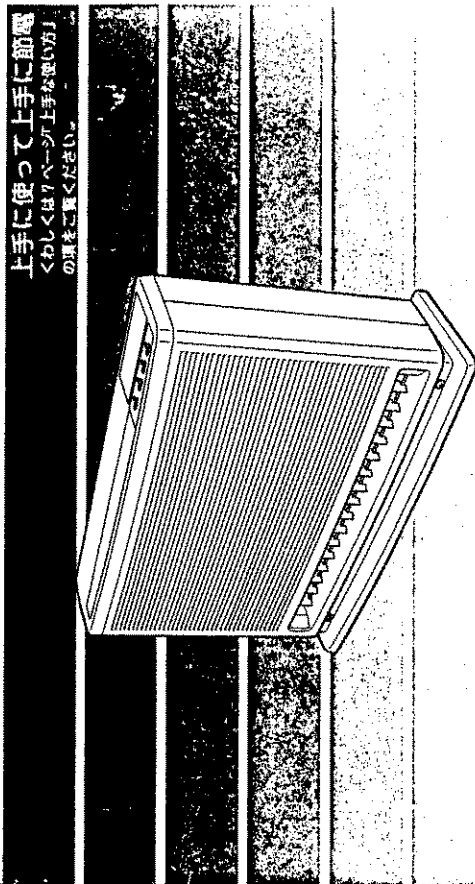
National

ナショナル ファンコンベクター

取扱説明書

この説明書と添付の保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保管し、わからないとき再読してください。

保証書は必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて、販売店からお受
取りください。



上手に使うって上手に節電
くわしくは7ページ「上手な使いかた」
の項をご覧ください。

品番
AH-20MED-T
AH-30MED-T
AH-40MED-T

8. 取扱説明

このたびは、ナショナルファンコンベクターをお買求めいただきましてまことに
ありがとうございます。

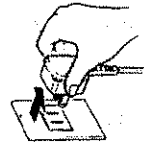
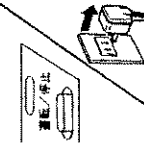
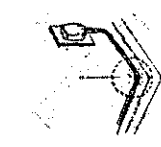
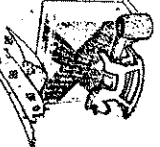
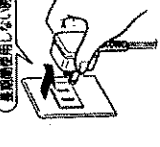
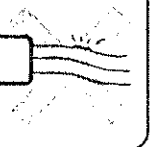
このファンコンベクターは、熱源機（ボイラー）と接続して暖房運転ができます。

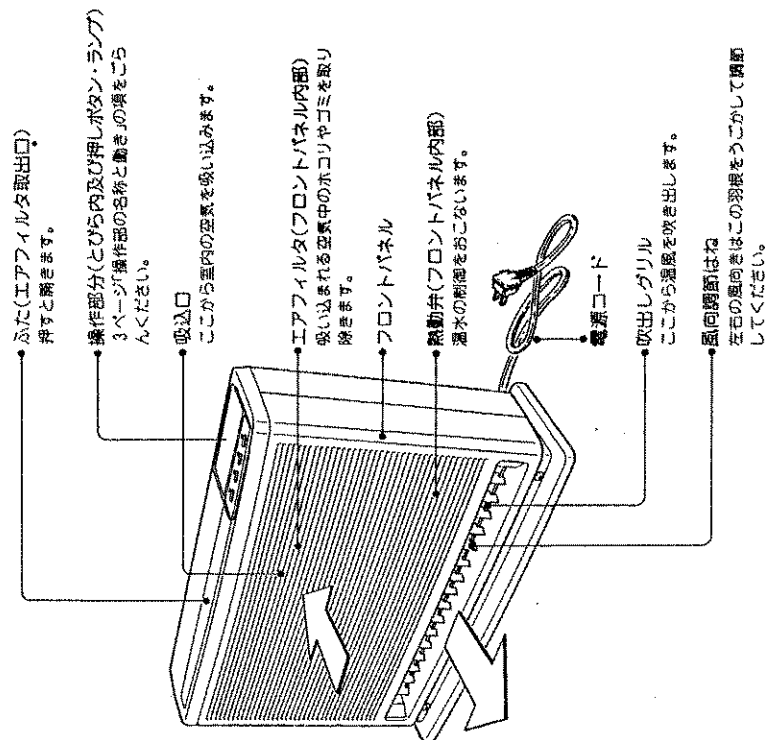
各部の名称と働き	1
特に注意していただきたいこと	2
操作部の名称と働き	3
運転のしかた	4
タイマー運転のしかた	5・6・7
本体の移動について	7
上手な使い方	7
使用時のご注意	8
日常点検とお手入れ	9・10・11・12
修理を依頼される前に	12
アフターサービスについて	13
仕様	13

各部の名称と働き

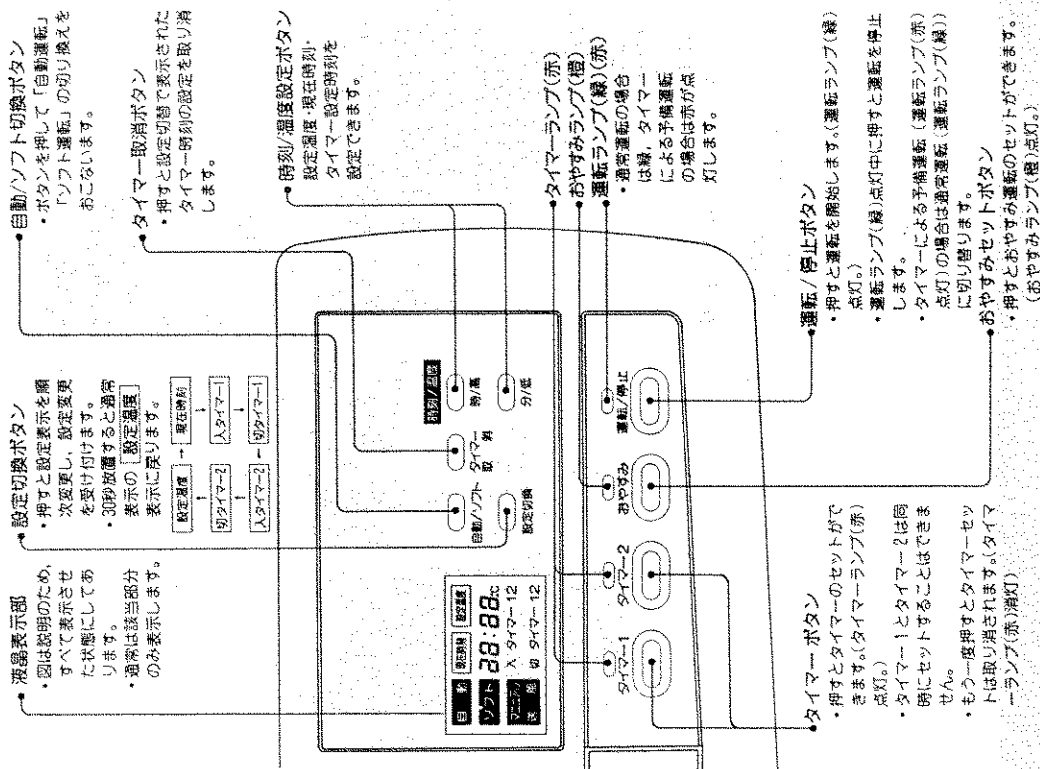
特に注意していただきたいこと

安全にお使いいただくために、つぎのことがらは必ずお守りください。

 電源プラグの抜き差しによる運転や停止、またゆるいコンセントに電源プラグを差し込んで運転しないであさ ●感電したり過熱のにもなります。	 点検やお手入れは、運転/停止ボタンやタイマーボタンで「停止」し(運転ランプ消灯)電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
 電源コードが鋭いかどに当たらないようにしてください。 ●コードがいたんで電線や漏電の危険があります。	 清掃するときは電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。 ●電気絶縁が悪くなり感電や漏電の原因になります。
 カーテン、家具などで吸込口、吹出しグリルをふさがないでください。 ●障害物があると送風能力が低下したり、正常な運転ができません。	 旅行や出張先で長期使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 乳幼児、小さな子ども、お年寄り、病気の人がお使いになるときは、送風温度が当たらないように周囲の方々が特に注意をあげてください。	 ●温水ゴム管に長時間ふれたり、足で踏んだり、引掛けたりしないようご注意ください。特に小さな子どもさまにはお後のためにもご注意ください。
 濡かけたり、重い物をのせたりしないでください。 ●外装などが変形したり、こわれたりすることがあります。	 温水ゴム管はときどき点検し、いたんでいる場合は早目に交換してください。



操作部の名称と働き



運転のしかた

- ファンコンベクターの電源プラグをコンセントに差し込んでください。

 - 電源は必ず単相100Vからお取りください。
- 熱源機およびポンプを運転し、温水を循環させてください。

※リモコン配線されている場合には、熱源機の場合は必要ありません。
- 設定を変更する場合は「とびら」の押す部分を押し開けてください。

(初期設定は自動運転でサーモ設定温度は22℃です。)
- 時刻/温度設定ボタンを押し設定温度をお好みの温度に変えてください。

設定温度は16℃から26℃まで1℃きざみに設定できます。それ以上高い温度を設定したい場合はH(約30℃)低い温度を設定したい場合はL(約12℃)に合わせてください。
- 自動/ソフト切換ボタンを押し「自動運転」「ソフト運転」を切替えてください。
- 運転/停止ボタンを押します。(運転ランプ(緑)点灯。)

 - 熱源機が開き温水が流れ始めます。
 - 約1分後にファンが運転を始め暖房を開始します。(但し温水の温度が十分上がっていない場合は冷房防止制御によりファンは運転しません。)
- 運転/停止ボタンを押します。(運転ランプ(緑)消灯)運転を停止します。

※タイマー運転の停止はタイマーボタンとなります。P6参照。

ご注意

自動運転は送風を強・弱・停止と自動的に切替え部屋を暖房します。
ソフト運転は送風を弱・停止と自動的に切り替えやかに暖房します。

タイマー運転のしかた

■現在時刻の設定

1

●設定切換ボタンを押して液晶表示部に「現在時刻」の表示がでるようになります。時刻が設定されていない場合時計表示は「--」となっています。

2

●時刻/温度設定ボタンを押して「現在時刻」の下の時計表示を変え時刻を合わせてください。(上のボタンは「時」下のボタンは「分」を変えます。)

- 設定切換ボタンを押して約30秒おくと、自動的に通常表示の「設定温度」に変わります。その場合は再び**1, 2**の手順で、現在時刻の設定をやりなおしてください。
- 設定された時間については、長期間たつとくるとるいを生じることがあります。シーズン始めには現在時刻の確認をしてください。

■タイマー時刻の設定

- タイマーにはタイマー1とタイマー2があります。各々入切タイマーとなっております。
- タイマーのみ、また切タイマーの使用も可能です。
- ウィークデーはタイマー1、休日はタイマー2を使用するといく様な使い方を勧めます。

1

●設定切換ボタンを押して液晶表示部に設定したいタイマーの表示を出します。

●設定切換ボタンは1回押すごとに表示が「設定温度」→「現在時刻」→「入タイマー1」→「切タイマー1」→「入タイマー2」→「切タイマー2」の順に変わります。

2

●時刻/温度設定ボタンを押してタイマー2の上の時計表示を変え時刻を設定してください。(上のボタンは「時」下のボタンは「分」を設定できます。)

※現在時刻が設定されていない場合、タイマー時刻の設定はできません。

※入タイマーと切タイマーの設定時刻が同一の場合はタイマーセットはできません。

ご注意

時刻の表示は24H表示となっています。16:30の表示の場合は午後4時30分の設定となっています。

タイマー運転のしかた

■タイマー時刻の設定変更及び取り消し

タイマー1、タイマー2で例えば入タイマー、切タイマーの時刻を設定したが、切タイマーのみを取り消したい。又は入タイマーの時刻を設定したが、入タイマーを取り消して切タイマーの設定をおこなう場合など下記の手順でおこなってください。設定した時刻の変更の場合はタイマー時刻の設定**1, 2**の手順で時刻の変更をおこなうことができます。

1

●設定切換ボタンを押して液晶表示部に「取り消したいタイマー」の表示を出します。

2

●取り消したいタイマーを確認の上タイマー取消ボタンを押してください。タイマーの設定時刻が取り消され表示は左図のようになります。

■タイマー運転のしかた

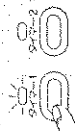
- タイマーボタンを押してください。タイマーのセットができます。
- この時タイマーランプ(赤)が点灯し液晶表示部にセットされたタイマーの表示がされます。
- (例えばタイマー1に入タイマー時刻、切タイマー時刻が設定されており、タイマー1のタイマーボタンを押した場合左図のようになります。)

液晶表示

24.0

入タイマー1

切タイマー1



ご注意 タイマー1とタイマー2は同時にセットすることはできません。

■タイマー運転の取り消し

- タイマー運転中(タイマーランプ(赤)点灯中)タイマーボタンを再度押すとタイマーのセットが取り消されタイマーランプも消灯します。

予備運転について

入タイマーをセットした場合設定時刻の1時間前になると予備運転にはいります(運転ランプ(赤)点灯)。予備運転は自動的に設定時刻には設定温度になっているように室温を徐々に上げるソフト運転をおこないます。

予備運転の取り消しはタイマーボタンでおこなってください。運転/停止ボタンでの取り消しはできません。

使用時のご注意

温水プラグについてのご注意

- 器具のご使用中は、温水プラグも、多少熱くなりますので、取外しの際はご注意ください。また、取外し直後は絶対にプラグ先端には触れないでください。
- 温水プラグを温水コンセントに差し込む場合は、確実に差し込みロックされていることを確認してください。

- 温水プラグまたは温水コンセントのシールゴムは、水もれを防ぐための大切な部品です。暖房シーズンのはじめには温水プラグを、コンセントに差し込む前に、必ず点検してください。もし、シールゴムの変形が著しかったり、破れ、むしれがある場合には、すぐに、サービスを依頼してください。(P13参照)

■おやすみ運転のしかた

- おやすみ運転は暖房運転中（運転ランプ（緑）点灯）のときのみセットできます。おやすみ運転をセットすると自動的に室温を下げながら約1時間後に運転が停止します。（運転ランプ（緑）消灯）
- おやすみセットボタンを押してください。おやすみランプ（緑）が点灯しおやすみ運転になります。
- もう一度押すとおやすみ運転はとり消されます。（おやすみランプ（緑）消灯）

本体の移動について

■ファンコンベクターを移動してご使用になる場合

ファンコンベクターを別の部屋に移動してご使用される場合約10分以内におこないますと、4～6ページでおこなった設定はそのまま使用できます。

ご注意

マイコンの記憶は電源プラグを抜いて約10分間保持しています。経過後は再設定してください。

上手な使い方

暖房効果、電気代などの点で一層効果的に使うことができます。

- 暖房時、寒気の侵入を少なくしましょう。
 - 窓には、カーテンをひくなどして寒気の侵入を防いでください。
 - 窓や出入口は、必要時以外は開けないようにしてください。
- エアフィルタの清掃はこまめに。
 - エアフィルタの目づまりは風の流れを妨げ、暖房効果が低下します。
 - 2週間に1回程度清掃してください。

日常の点検とお手入れ

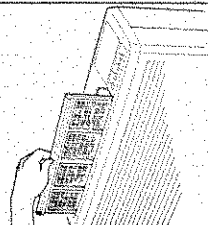
お手入れの前に、運転/停止ボタン、タイマーボタンで絶ての運転を停止にし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。

エアフィルタのお手入れ

- エアフィルタにゴミやホコリが多すぎると風量が減り暖房効果が低下します。
- 通常2週間に1回程度、次の要領で清掃してください。
- 特に汚れのひどい所でご使用になる場合には清掃の回数を多くしてください。

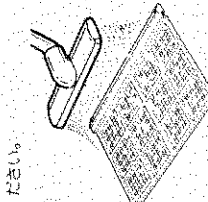
1

エアフィルタを取り出してください。



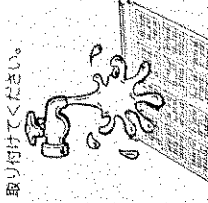
2

エアフィルタについているホコリを掃除機で吸い取ってください。



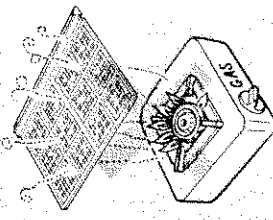
3

汚れがひどい時は水で軽く洗い、日陰でよく乾かしてから取り付けてください。

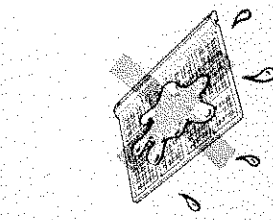


ご注意

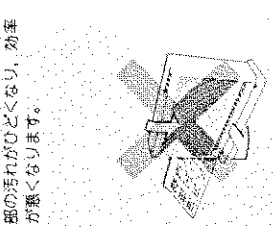
火気による乾燥は絶対にしないでください。



エアフィルタをぬれたまま取り付けないでください。



エアフィルタをはずしたまま運転しないでください。内部の汚れがひどくなり、効率が悪くなります。



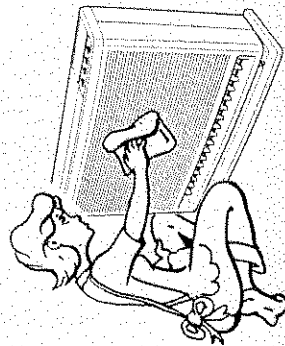
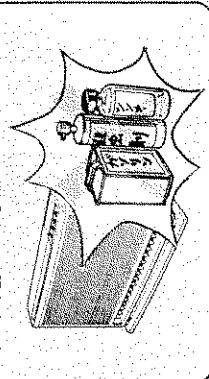
日常の点検とお手入れ

外装の清掃

- 吸出しグリルや外装の汚れは、やわらかい布でふくが、台所用洗剤をつけた布でよくふいてください。

ご注意

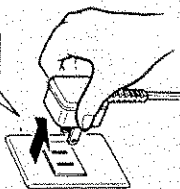
- ガソリン、シンナー、ベンジン、みがき粉、化学ぞうきん、スプレー式殺虫剤などは絶対に使用しないでください。塗装がはがれたリプラスチックが割れたり、変形することがあります。



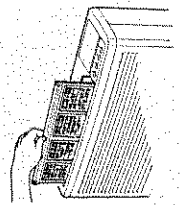
ご使用シーズンが終了したら

製品の暖房部の運転/停止ボタン、タイマーボタンで絶ての運転を停止（ランプは絶ての消灯）にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

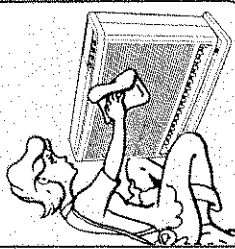
長時間使用しない時



エアフィルタを清掃し、十分乾燥させてからもとどおり取り付けてください。



外装部をやわらかい布でからふきします。



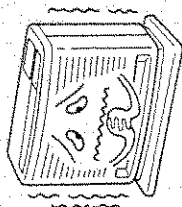
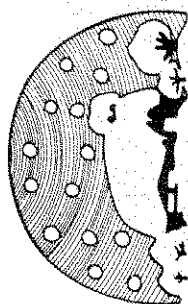
日常の点検とお手入れ

凍結防止について

- 冬期外気温が0℃以下になりますと熱交換器や温水配管の水が凍結し破損することがあります。配管や器具が破損しますと、水もれにより大きな被害を引き起こしますので、必ずシステムに適合した凍結防止策を実施してください。
- 暖房用室外機でポンプ運転できる場合は水を循環させ、かつファンコンベクターの電源プラグをコンセントから抜かないでください。

ポンプ運転のできない場合

暖房水の中に不凍液を注入することで凍結が防止できます。この場合は器具を操作する必要はありません。不凍液の注入は必ずお買求めの販売店におまかせください。



修理を依頼される前に

万一不具合が生じましたら、次の表に従ってお問い合わせください。それでもなお正しく運転しない場合は、お買求めの販売店にご連絡ください。

状態	現象	原因	処置
運転ランプが点いているが暖風が出ない。	運転ランプがついているが暖風が出ない。	ファンコンベクター内の温水温度が低い。	そのまましばらく待ってください。
暖房能力が低下した。	暖風は出るが暖風の温度が低い。	設定温度の設定が低い。	設定を上げてください。
異常音が出る。	異常音が出る。	熱交換機の異常。	熱交換機の取扱説明書に記されている点検方法を確認してください。
暖房能力が低下した。	暖風は出るが暖風の温度が低い。	エアフィルタが目づまり。	エアフィルタの清掃。
異常音が出る。	異常音が出る。	熱交換機の異常。	熱交換機の取扱説明書に記されている点検方法を確認してください。
異常音が出る。	異常音が出る。	結付配のゆるみファンモータの異常。	お買求めの販売店へご連絡ください。

- 特に、ファンコンベクター不使用時の収納のために梱包ケースは捨てないでください。
- 暖房シーズンが終了、器具を収納する場合には、次のようにしてください。

- プラグ先端(片側)に、ゆっくりと押し込み、内部の圧力を下げておいてください。

ご注意

- 水が強い良く流出する場合がありますので、充分な大きさの水受けを準備してください。また、ゆっくりと、注意深く押し込んで収納等にかからないようにご注意ください。

- 器具の使用直後に行ないますと、温水が流出することがありますので、必ず器具が冷却した後におこなってください。

- 温水プラグには流出防止栓が内蔵されていますので、器具内の水が漏れることはありません。

- 温水コンセントの温水プラグ差込口の水アカを、やわらかい布などでよくふいておいてください。

- ファンコンベクターを収納する場合は温水プラグのシールゴム部分の汚れをやわらかい布などでよくふき取ってください。(特に不凍液をご使用の場合は、汚れやすいので入念にお手入れください。)

- ビニール袋で、温水プラグをおおって収納してください。

- 暖房シーズンが終了保管される場合は、梱包ケースに入れ暖気の少ないところへ保管してください。

